

機械設備定期点検(1)

点検月 令和 元年 5月

設備名	点検項目	周期	点検結果	設備名	点検項目	周期	点検結果									
原水調整設備	調整槽	調整槽ポンプ	浮遊物除去	6	-	高度処理設備	砂ろ過塔	洗浄工程確認	月	○						
		調整槽ポンプ	本体付着物除去	年	-			空洗タイマー設定値(分)	月	○						
		調整槽ポンプ	潤滑油交換	年	-			逆洗タイマー設定値(分)	月	○						
		調整槽ポンプ	外観	年	-			空気弁動作確認	月	○						
		調整槽ポンプ	プロペラ確認	年	-			洗浄工程確認	月	○						
		調整槽ポンプ	キャブタイヤケーブル絶縁	年	-			逆洗タイマー設定値(分)	月	○						
	原水槽	No.1原水ポンプ	原水槽	浮遊物除去	月		○	No.1活性炭吸着塔	活性炭吸着塔	空気弁動作確認	月	○				
			原水槽	フロートスイッチ動作	年		-			No.2活性炭吸着塔	活性炭吸着塔	洗浄工程確認	月	○		
			原水槽	本体付着物除去	年		-					逆洗タイマー設定値(分)	月	○		
			原水槽	潤滑油交換	年		-					空気弁動作確認	月	○		
			原水槽	外観	年		-					洗浄工程確認	月	○		
			原水槽	プロペラ確認	年		-					逆洗タイマー設定値(分)	月	○		
原水槽	キャブタイヤケーブル絶縁	年	-	空気弁動作確認	月	○										
揚水計量槽	No.2原水ポンプ	揚水計量槽	本体付着物除去	年	-	ゼオライト原水槽	ゼオライト原水槽	潤滑油交換	年	-						
		揚水計量槽	潤滑油交換	年	-			消毒槽	消毒槽	外観	年	-				
		揚水計量槽	外観	年	-					浮遊物除去	6	-				
		揚水計量槽	プロペラ確認	年	-					浮遊物除去	6	-				
		揚水計量槽	キャブタイヤケーブル絶縁	年	-					フリクトスイッチ動作確認	6	-				
		揚水計量槽	汚泥等の堆積	月	○					本体付着物除去	年	-				
揚水計量槽	槽内清掃	月	○	潤滑油交換	年	-										
生物処理	第一PH調整槽	攪拌機	第一PH調整槽	回転部スケール除去	年	-	放流槽	No.1処理水移送ポンプ	外観	年	-					
			第一PH調整槽	プロペラ確認	年	-			本体付着物除去	年	-					
	第一沈殿池	掻寄機	第一沈殿池	第一沈殿池	トラフの損傷、越流状況	月			○	No.2処理水移送ポンプ	No.2処理水移送ポンプ	プロペラ確認	年	-		
				第一沈殿池	浮遊物の除去	月			○			キャブタイヤケーブル絶縁	年	-		
	第一汚泥ピット	返送汚泥余剰汚泥ポンプ	第一汚泥ピット	第一汚泥ピット	浮遊物の除去	月			○			1-1放流水移送ポンプ	1-1放流水移送ポンプ	外観	年	-
				第一汚泥ピット	グリッド補充	6			○					本体付着物除去	年	-
				第一汚泥ピット	本体付着物除去	年		-	潤滑油交換					年	-	
				第一汚泥ピット	潤滑油交換	年		-	外観					年	-	
				第一汚泥ピット	外観	年		-	プロペラ確認	年	-					
				第一汚泥ピット	プロペラ確認	年		-	キャブタイヤケーブル絶縁	年	-					
	硝化槽	1槽	硝化槽	硝化槽	散気状態	月		○	1-2放流水移送ポンプ	1-2放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	-			
				硝化槽	散気状態	月		○			潤滑油交換	年	-			
硝化槽				散気状態	月	○	外観	年			-					
硝化槽				散気状態	月	○	プロペラ確認	年			-					
硝化槽				散気状態	月	○	キャブタイヤケーブル絶縁	年			-					
硝化槽				散気状態	月	○	2-1放流水移送ポンプ	2-1放流水移送ポンプ			本体付着物除去	年	-			
硝化槽	散気状態	月	○	潤滑油交換	年	-										
脱窒素槽	2槽	脱窒素槽	脱窒素槽	水中攪拌機攪拌状況	月	○			2-2放流水移送ポンプ	2-2放流水移送ポンプ	外観	年	-			
			脱窒素槽	オイル交換(業者)	年	-					本体付着物除去	年	-			
			脱窒素槽	水中攪拌機攪拌状況	月	○					潤滑油交換	年	-			
再曝気槽	循環ポンプ	再曝気槽	再曝気槽	オイル交換(業者)	年	-			3-1放流水移送ポンプ	3-1放流水移送ポンプ	外観	年	-			
			再曝気槽	水中攪拌機攪拌状況	月	○	プロペラ確認	年			-					
			再曝気槽	散気状態	月	○	キャブタイヤケーブル絶縁	年			-					
			再曝気槽	本体付着物除去	年	-	4-1放流水移送ポンプ	4-1放流水移送ポンプ			本体付着物除去	年	-			
			再曝気槽	潤滑油交換	年	-					潤滑油交換	年	-			
			再曝気槽	外観	年	-					外観	年	-			
再曝気槽	プロペラ確認	年	-	プロペラ確認	年	-										
再曝気槽	キャブタイヤケーブル絶縁	年	-	キャブタイヤケーブル絶縁	年	-										
再曝気槽	散気状態	月	○	4-2放流水移送ポンプ	4-2放流水移送ポンプ	本体付着物除去			年	-						
第二PH調整槽	攪拌機	第二PH調整槽	第二PH調整槽			本体付着物除去	年	-	潤滑油交換	年	-					
			第二PH調整槽			潤滑油交換	年	-	外観	年	-					
脱気槽	攪拌機	脱気槽	脱気槽			散気状態	月	○	3-2放流水移送ポンプ	3-2放流水移送ポンプ	プロペラ確認	年	-			
			脱気槽			電磁弁動作確認	月	○			キャブタイヤケーブル絶縁	年	-			
混和槽	攪拌機	混和槽	混和槽			回転部スケール除去	年	-	4-4放流水移送ポンプ	4-4放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	-			
			混和槽	プロペラ確認	年	-	潤滑油交換	年			-					
凝集槽	攪拌機	凝集槽	凝集槽	回転部スケール除去	年	-	4-1放流水移送ポンプ	4-1放流水移送ポンプ	外観	年	-					
			凝集槽	プロペラ確認	年	-			プロペラ確認	年	-					
第二沈殿槽	掻寄機	第二沈殿槽	第二沈殿槽	回転部スケール除去	年	-	4-2放流水移送ポンプ	4-2放流水移送ポンプ	キャブタイヤケーブル絶縁	年	-					
			第二沈殿槽	プロペラ確認	年	-			本体付着物除去	年	-					
高度処理設備	ろ過原水槽	ろ過原水ポンプ	ろ過原水槽	トラフの損傷、越流状況	月	○	処理水貯留槽	3-3放流水移送ポンプ	3-3放流水移送ポンプ	浮遊物の除去	月	○				
			ろ過原水槽	浮遊物の除去	月	○				4-1放流水移送ポンプ	4-1放流水移送ポンプ	本体付着物除去	年	-		
			ろ過原水槽	外観	年	-						潤滑油交換	年	-		
			ろ過原水槽	プロペラ確認	年	-						外観	年	-		
			ろ過原水槽	キャブタイヤケーブル絶縁	年	-						プロペラ確認	年	-		
			ろ過原水槽	フリクトレベルスイッチ動作	6	-						キャブタイヤケーブル絶縁	年	-		
	ろ過原水槽	本体付着物除去	年	-	4-2放流水移送ポンプ	4-2放流水移送ポンプ		本体付着物除去	年			-				
	ろ過原水槽	潤滑油交換	年	-				潤滑油交換	年	-						
	ろ過原水槽	外観	年	-				外観	年	-						
	ろ過原水槽	プロペラ確認	年	-				プロペラ確認	年	-						
	ろ過原水槽	キャブタイヤケーブル絶縁	年	-				キャブタイヤケーブル絶縁	年	-						
	ろ過原水槽	本体付着物除去	年	-				本体付着物除去	年	-						

○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可  
 ×…異常あり(要修理) ▲…修理中

備考  
 5/13(月)~ 処理量を150m<sup>3</sup>/日→100m<sup>3</sup>/日に変更

機械設備定期点検(2)

点検月 令和 元年 5 月

設備名		点検項目		周期	点検結果	設備名	点検項目		周期	点検結果	
薬品注入設備	薬品貯留槽	メタノール	ストレーナー清掃	年	—	空気源設備	空気圧縮機	ねじ、ナットの緩み	月	○	
		苛性ソーダ	ストレーナー清掃	年	—			ベルトの伸び、傷み	月	○	
		塩化第二鉄	ストレーナー清掃	年	—			吸引る過熱詰り物点検	月	○	
		硫酸	ストレーナー清掃	年	—			運転開始圧力(Mpa)	月	○	
	薬品溶解槽	リン酸	ストレーナー清掃	年	—			運転停止圧力(Mpa)	月	○	
			タンク内部確認	年	—			潤滑油交換	6	—	
		凝集助剤A	ストレーナー清掃	月	○			吸込フィルタ清掃	年	—	
			タンク内部確認	年	—			タンクの清掃点検	年	—	
			凝集助剤B	ストレーナー清掃	月	○					
	薬品注入ポンプ	メタノール	潤滑油交換	年	○	第二汚泥ピット	排泥ポンプ	本体付着物除去	6	—	
		No.1苛性ソーダ	潤滑油交換	年	○			潤滑油交換	年	—	
		No.2苛性ソーダ	潤滑油交換	年	○			外観	年	—	
		No.3苛性ソーダ	潤滑油交換	年	○			プロペラ確認	年	—	
		No.4苛性ソーダ	潤滑油交換	年	○	汚泥濃縮槽	濃縮汚泥ポンプ	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—	
		塩化第二鉄	潤滑油交換	年	○			浮遊物除去	6	—	
硫酸		潤滑油交換	年	○	本体付着物除去			6	—		
薬品注入量	メタノール	実量測定(ml/分)	月	○	汚泥貯留槽		潤滑油交換	年	—		
	塩化第二鉄	実量測定(ml/分)	月	○			外観	年	—		
	りん酸	実量測定(ml/分)	月	○			プロペラ確認	年	—		
	凝集助剤	実量測定(ml/分)	月	○			キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		
ブロウ設備	ブロウ	No.1曝気ブロウ	温度	3	—	給排水設備	床排水	床排水ポンプ	散気管確認	6	—
			安全弁動作	3	—				フリクトレベルスイッチ動作	6	—
			各接合部締付	3	—				浮遊物除去	6	—
			Vベルト張り状態	3	—				本体付着物除去	6	—
			ベアリンググリス交換	6	—				潤滑油交換	年	—
			ギヤオイル交換	6	—				外観	年	—
		No.2曝気ブロウ	Vベルト交換	年	—		プロペラ確認	年	—		
			圧力計交換	年	—		キャブタイヤケーブル絶縁	年	—		
			吸込フィルタ清掃	年	—		雑排水槽	雑排水ポンプ	浮遊物除去	6	—
			温度	3	—				本体付着物除去	6	—
			安全弁動作	3	—				潤滑油交換	年	—
			各接合部締付	3	—		外観	年	—		
		Vベルト張り状態	3	—	プロペラ確認		年	—			
		ベアリンググリス交換	6	—	キャブタイヤケーブル絶縁		年	—			
		No.3曝気ブロウ	ギヤオイル交換	6	—		第二雑排水槽	第二雑排水ポンプ	浮遊物除去	6	—
	Vベルト交換		年	—	本体付着物除去	6			—		
	圧力計交換		年	—	潤滑油交換	年			—		
	吸込フィルタ清掃		年	—	外観	年	—				
	温度		3	—	プロペラ確認	年	—				
	安全弁動作		3	—	キャブタイヤケーブル絶縁	年	—				
	原水槽攪拌ブロウ	Vベルト張り状態	3	—	フレッシュャー		槽内点検	月	○		
		ギヤオイル交換	3	—			警報の有無	月	○		
		ベアリンググリス交換	6	—			清掃	年	—		
		Vベルト交換	年	—	PH計	PH計	第一PH調整槽	設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.55-7.05	
		フィルタエレメント交換	年	—			KCL確認、補充	月	○		
		安全弁動作	3	—			電極の清掃及び校正	月	○		
	Vベルト張り状態	3	—	硝化槽			設定値(薬注ポンプon-off)	月	7.75-7.85		
	ギヤオイル交換	3	—	KCL確認、補充			月	○			
	ベアリンググリス交換	6	—	電極の清掃及び校正			月	○			
	汚泥貯留槽攪拌ブロウ	Vベルト交換	年	—	第二PH調整槽		設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.45-6.55		
フィルタエレメント交換		年	—	KCL確認、補充			月	○			
安全弁動作		3	—	電極の清掃及び校正			月	○			
Vベルト張り状態		3	—	混和槽		設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.35-6.45			
ギヤオイル交換		3	—			KCL確認、補充	月	○			
ベアリンググリス交換		6	—			電極の清掃及び校正	月	○			
空洗ブロウ	Vベルト交換	年	—	中和槽		設定値(薬注ポンプon-off)	月	6.75-6.85			
	フィルタエレメント交換	年	—			KCL確認、補充	月	○			
	安全弁動作	3	—			電極の清掃及び校正	月	○			
	Vベルト張り状態	3	—								
	ベアリンググリス交換	年	—								
	ギヤオイル交換	年	—								

○…異常なし又は実施 △…異常あるも運転可  
 ×…異常あり(要修理) ▲…修理中

備考

電気設備定期点検(1/2)

点検月 令和 元年 5 月

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
No.1曝気ブロワ	1	電流値(A) : 162A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2曝気ブロワ	2	電流値(A) : 162A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3曝気ブロワ	3	電流値(A) : 170A	6				
		電圧値(V) : 200V	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
原水槽 攪拌ブロワ	4	電流値(A) : 3.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1調整槽 ポンプ	5	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2調整槽 ポンプ	6	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1原水ポンプ	7	電流値(A) : 3.8A	6	2.61	2.76	2.58	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2原水ポンプ	8	電流値(A) : 3.8A	6	2.65	2.85	2.65	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
循環ポンプ	9	電流値(A) : 3.7A	6	3.05	3.23	3.25	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
返送汚泥 ポンプ	12	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
排泥ポンプ	11	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
余剰汚泥ポンプ	10	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
濃縮汚泥 ポンプ	13	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
床排水ポンプ*2	14	電流値(A) : 3.7A	6	3.94	4.04	3.91	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			結果
りん酸 注入ポンプ	15	電流値(A) : 0.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
メタノール 注入ポンプ	16	電流値(A) : 0.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1硫酸 注入ポンプ	17	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2硫酸 注入ポンプ	18	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
塩化第二鉄 注入ポンプ	19	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1苛性ソーダ 注入ポンプ	20	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2苛性ソーダ 注入ポンプ	21	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3苛性ソーダ 注入ポンプ	22	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4苛性ソーダ 注入ポンプ	23	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第一PH調整槽 攪拌機	9	電流値(A) : 6.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第一沈殿槽 掻寄機	25	電流値(A) : 2.35A	6	1.50	1.63	1.63	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1脱窒素槽 水中攪拌機	26	電流値(A) : 9.89A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2脱窒素槽 水中攪拌機	27	電流値(A) : 15.7A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3脱窒素槽 水中攪拌機	28	電流値(A) : 7.38A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

注)測定値は、電圧は左からR-S、S-T、T-R 電流値はR、S、T 絶縁抵抗値はR-E、S-E、T-Eとします。

曝気ブロワの絶縁抵抗値について上段は、U-E、V-E、W-Eで、下段は、X-E、Y-E、Z-Eとします。

判定の基準は、電流値については「定格値以下であること、絶縁抵抗値については3φは、0.2MΩ以上とし1φは0.1MΩ以上とします。

電気設備定期点検(2/2)

点検月 令和 元年 5 月

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
りん酸溶解槽 攪拌機	29	電流値(A) : 0.62A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
ろ過原水ポンプ	30	電流値(A) : 9.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
逆洗ポンプ	31	電流値(A) : 15.4A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
ゼオライト原水 ポンプ	32	電流値(A) : 6.9A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1処理水移送 ポンプ	33	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2処理水移送 ポンプ	55	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
凝集助剤 注入ポンプ	36	電流値(A) : 1.3A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
雑排水 ポンプ	37	電流値(A) : 10.2A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二PH調整槽 攪拌機	38	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
混和槽攪拌機	39	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1凝集槽 攪拌機	40	電流値(A) : 1.24A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2凝集槽 攪拌機	56	電流値(A) : 1.24A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二沈殿槽 掻寄機	41	電流値(A) : 2.35A	6	1.56	1.60	1.46	○
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
中和槽攪拌機	42	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1凝集助剤 溶解槽攪拌機	44	電流値(A) : 1.30A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

機械名	線番	点検項目	周期	測定値			判定
No.2凝集助剤 溶解槽攪拌機	45	電流値(A) : 1.30A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
空洗ブロウ	46	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
汚泥貯留槽 攪拌ブロウ	47	電流値(A) : 6.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
給水ユニット No.1ポンプ No.2ポンプ	49	電流値(A) : 3.5A	6				
		電流値(A) : 3.5A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
空気圧縮機	51	電流値(A) : 9.9A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
第二雑排水*-1 ポンプ	57	電流値(A) : 9.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年	∞	∞	∞	○
No.1-1放流水 移送ポンプ	1	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.1-2放流水 移送ポンプ	2	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2-1放流水 移送ポンプ	3	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.2-2放流水 移送ポンプ	4	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3-1放流水 移送ポンプ	5	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.3-2放流水 移送ポンプ	6	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4-1放流水 移送ポンプ	7	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				
No.4-2放流水 移送ポンプ	8	電流値(A) : 3.8A	6				
		絶縁抵抗値(MΩ)	年				

注) 測定値は、電圧は左からR-S、S-T、T-R 電流値はR,S,T 絶縁抵抗値はR-E,S-E,T-Eとします。

備考 \*-1 第二雑排水ポンプの絶縁抵については今回は各相∞となっております。  
\*-2 床排水ポンプ電流値はR相3.94A S相4.04A T相3.91Aです。